

令和4年度 学校経営計画

広島市立舟入高等学校

学校教育目標 校訓「おのれに徹して人のために生きよう」を教育活動の指針として、生徒の ① 多様性を認め自他を尊重する豊かな人間性 ② 主体的・対話的で深い学びを通じた高い知性と教養 ③ 課題を発見し解決に取り組み新たな価値を育む創造力 を育成する。

目指す学校像(ビジョン) 1 多様性を認め、自他を尊重して協働できる豊かな人間性を有する生徒を育成する学校 2 主体的に学び、問いを見出し、高い批判的思考力・判断力を持つ生徒を育成する学校 3 生徒の高い志を育成し、希望進路を実現する学校 4 国内外の社会課題に関心を持ち、その解決に向けて自らが果たす役割を考えて意見を発信し、持続可能な社会の形成に参画する生徒を育成する学校 5 安全で持続可能な教育活動を全校的に進める学校 6 情報を発信し、地域や保護者と連携する開かれた学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		担当分掌	
				努力指標	成果指標		
豊かな人間性	地域を含む多様な他者と協働し、自律的に行動できる生徒を育成する。	特別活動や部活動を通して豊かな人間性を持ち、他者と協働し主体的に行動できる生徒を育成する。	生徒会総務役員が中心となり、生徒会活動の主体的運営を目指し、各委員会や部活動との連携を密に図り活性化する。生徒が充実感を持てる学校行事の計画・実施と学校生活のルール整備を目指す。	4 3 2 1	4 3 2 1	生徒会活動や地域との連携に対する生徒の満足度の割合	生徒部
	快適に学校生活を送れる望ましい教育環境づくりを確立する。	教職員の指導のもと、生徒の校内美化に対する意識を高め、積極的に清掃活動を行えるようにする。	教職員は監督をするだけでなく共に活動することで生徒の意識を変える援助者となり適切な助言や評価をする。	4 3 2 1	4 3 2 1	生徒が積極的に清掃活動を行った日数の割合	
高い知性と教養	授業の質を保証し、生徒が主体的に学習に向かうことのできる指標となる評価を実施する。	教師が指導改善と生徒の学習改善につながるための評価の研究を行う。	新たに求められている力を伸長するための研究や作問・授業実践を通して、指導と評価の一体化を図る。	4 3 2 1	4 3 2 1	学習指導要領を意識した授業や評価の方法についての研究を行った教職員の割合	教務部
	生徒の主体性、思考力・判断力・表現力を高める授業を行う。	主体性、思考力・判断力・表現力を高めるようなABLE Timeの指導に取り組む。	ABLE Timeの時間において、講演会等を計画的に実施し、生徒の主体性、思考力・判断力・表現力を高める。	4 3 2 1	4 3 2 1	年間を通して、ABLE Timeにおける探究講演会等の実施回数	DID (Department of Innovation Design) イノベーションデザイン部
高い志	社会の中で自己を生かす高い希望を形成し、その中で学習意欲を高め、希望進路を実現する。	生徒一人ひとりが進路に対する目標を明確化できるように指導する。また、その実現に必要な学習意欲と高い学力を身につけるための環境を整備する。	生徒、保護者の進路意識向上を目指して、各学年ともに進路だよりを発行していく。土ゼミ、小論文指導、面接指導を積極的に受講させて、その中で個々の生徒の学力向上に努めるとともに、自己実現につながる指導に取り組む。	4 3 2 1	4 3 2 1	難関大学志望者集会、歯歯薬希望者集会などの実施回数	進路指導部
社会参画	国内外の社会課題に関心を持ち、その解決に向けて自らが果たす役割を考えて意見を発信できる生徒の育成を図る。	国内外の社会課題について生徒が知る機会を増やし、それらについて意見を深める機会を持たせる。	普段の授業や国際交流合宿、海外語学研修、海外文化研修、海外修学旅行やオンラインでの国際交流、講演会等を通して、生徒が国内外の社会課題についての理解を深め、主体的に意見を発信する機会を設ける。	4 3 2 1	4 3 2 1	学校評価アンケートの「舟入高校は、国際理解教育を十分行っている」という項目で、そう思う・どちらかというと思う、と答えた教職員の割合	国際部
安全で持続可能	生徒が、自他の生命尊重を基盤として、自ら安全に行動し、他の人や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するとともに、生徒の安全を確保するための環境を整える。	事件・事故の要因となる学校環境、生徒の心身の状態、学校生活全般における言動・行動の危険を早期に発見し、生徒部と連携を図り、それらの危険を速やかに除去、回避し、事件・事故、災害が発生した場合には、適切な対応、応急手当や安全措置ができるような体制を確立して、生徒の安心・安全の確保を図る。	日常、定期あるいは臨時の生徒への健康観察と安全教育、学校環境の安全点検を学校体制として行う。また、学校生活アンケート等を活用し、生徒の様々な状況を的確に把握し、いじめの早期発見、早期解決・解消に取り組む。	4 3 2 1	4 3 2 1	学校生活アンケートに基づいた生徒面談を3回以上行った担任の割合	保健相談部
	学校においてこれまで教職員が担ってきた役割の見直しと業務の効率化を図り、生徒に向き合う時間を持続的に確保できる体制をつくる。	業績評価(自己申告)書において働き方改革関連目標を設定することで、働き方改革に係る教職員の意識改革を図る。	長時間勤務の解消などの目標値を各教職員が設定し、推進する。	4 3 2 1	4 3 2 1	業績評価において、目標を達成した教職員の割合	管理職
情報発信	開かれた学校づくりに取り組むことにより、保護者や地域との信頼関係を築く。	中学校訪問やオープンスクールの実施により、本校の魅力を伝えると共に、各中学校との連携を強める。	学校案内やポスター等を、過去に本校受検実績のある中学校に送付する。広島市内の中学校を対象に学校訪問を行う。オープンスクールの案内を早めることにより、参加者の増加につなげる。	4 3 2 1	4 3 2 1	「学校案内」「学校要覧」の外部への配付数	総務部
	ホームページを充実させることにより、本校の教育内容をより一層理解していただくように努める。	ホームページの更新に努めるとともに、学校行事や部活動の内容についても充実させる。	ホームページの更新に努めるとともに、学校行事や部活動の内容についても充実させる。	4 3 2 1	4 3 2 1	1年間にホームページに掲載された記事の件数	